

# 隠れた名曲から辿る音楽史

Chapter  
10

ピアノ科ベーシックコース主教材『ピアノ・レパートリー1・2』で取り上げている作曲家の作品や生涯、当時の時代背景などをとおして、古今東西の音楽の歴史を紐解いていきます。



『ピアノ・レパートリー1』P.24

## ロシア民謡による 舞曲風変奏曲

作曲：D.カバレフスキー

「ロシア民謡による舞曲風変奏曲」は、カバレフスキーが子ども向けに作曲したピアノ曲集『5つのやさしい変奏曲』Op.51の第2曲にあたります。タイトルのとおり、ロシア民謡を主題として変奏したもので、リズムカルなテーマに始まり、途中で調性がさまざまに変化していきます。

音楽教育に熱心だったカバレフスキーらしく、ピアノ初心者でも難しいテクニックを必要とせず、各変奏における性格の違いを表現する力やテンポ感、テクニックなどが学べるという教育的意図も見受けられる作品です。

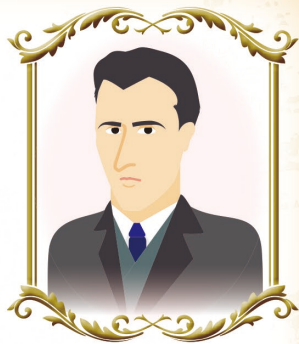
## ドミトリー・カバレフスキー

(1904年-1987年)

近代・現代の時代にロシア(旧ソ連)で活躍した作曲家、ピアニスト、音楽教育家です。

当時の首都、ロシア北西部のペテルブルクに生まれたカバレフスキーは、数学者であった父の意に反して音楽の道を志しモスクワ音楽院に進学、ピアノと作曲を学びます。在学中は芸術の大衆化を目指す学生団体に所属し、その後も生涯に渡り一貫して、ロシア音楽の伝統に根ざした叙情的で親しみやすい音楽を作り続けました。

革命や戦争によって国が揺れ動く中、作曲家としてオペラや交響曲から声楽曲、バレエ、室内楽曲、ピアノ小品にいたるまで非常に幅広いジャンルの作品を生み出す一方、母校モスクワ音楽院の教授をはじめ、さまざまな芸術団体の役職を歴任するなど、当時のロシア音楽界において権威を振いました。第二次世界大戦後は、子どもや若い演奏家に向けた作品を多く手がけ、音楽に関する著作の出版や教育カリキュラムの提唱など、音楽教育の発展に大きく貢献しました。



代表作 組曲『道化師』/歌劇『コラ・ブルニョン』/『三頭のくじらと音楽の話』(著作)

### カバレフスキーくんに聞く



## ロシア音楽史 ～激動の20世紀編～

20世紀、ロシアでは革命による政治体制の変化や戦争によって国が大きく変化していく中、ボクたち音楽家は時代の波に大きく翻弄されながらも、さまざまな作品を生み出していったんだ。

20世紀初頭、ロシア(当時はロシア帝国)の音楽界では、グズノフやラフマニノフ、スクリャービンなどが活躍。ロシア国民楽派や西欧派が築いた民族豊かな音楽を受け継ぎ、さらに発展させたよ。

1910年代には、「ロシア・アヴァンギャルド」という前衛的な芸術運動が開花。その一端を担ったのが、パリでデビューし人気を博したロシアのバレエ団「バレエ・リュス」さ。バレエ・リュスでは、ドビュッシーやラヴェル、ファリャ、プロコフィエフなど各国の著名作曲家が音楽を手がけていて、中でもストラヴィンスキーが書いた『火の鳥』、『ペトルーシカ』、『春の祭典』の3作品は一大センセーションを巻き起こし、彼は一躍人気作曲家の仲間入りを果たしたんだ。

そして、第一次世界大戦中に起こった革命をきっかけにロシア帝国が倒れ、ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)に替わる頃、ロシア・アヴァンギャルドは最盛期を迎えるよ。けれども、1930年代になって政治体制が変わると、前衛的な芸術は厳しく制限され、芸術作品は保守的な作風と社会主義的な内容の「社会主義リアリズム」という様式で制作することが義務になってしまう。そのため、プロコフィエフやボク、ショスタコーヴィチ、ハチャトゥリアンなど、当時国内にいた音楽家は、政府の方針に沿った音楽活動をしていったんだ。

やがて、第二次世界大戦を経て1950年代に入り厳しい規制が少しずつ緩み始めると、音楽家たちは国内外の音楽を融合させた独自の作風を編み出していく。ロシア・アヴァンギャルドの芸術にも再び光が当たり始め、ソ連崩壊間近の1980年代後半には「多様主義の音楽」として世界の注目を集めたよ。

### ロマン派から近・現代への架け橋



A. グズノフ (1865-1936)  
ロシア国民楽派と西欧派を融合した音楽を大成。革命後出国し、2度と母国へ戻らなかった。



A. スクリャービン (1872-1915)  
ラフマニノフの同級生で、後期ロマン派様式から独自の音楽表現を模索するが、40代で急逝。



S. ラフマニノフ (1873-1943)  
名ピアニストとしても名高い作曲家。革命を機に国外を転々とした後、戦いを逃れ米国に移住。

### 革新的な音楽で新たな時代の扉を開く



I. ストラヴィンスキー (1882-1971)  
20世紀を代表する作曲家の1人。バレエ音楽で成功を収め、革命後再び母国に活動する。

### 社会主義リアリズムの時代に活躍



S. プロコフィエフ (1891-1953)  
幼少時から才能を発揮し、幅広い音楽ジャンルを手がける。革命時に米国へ亡命し、のちに帰国。



A. ハチャトゥリアン (1903-1978)  
民族的要素を取り入れた作風が特徴。プロコフィエフ、ショスタコーヴィチと並ぶソビエト3巨匠の1人。



D. ショスタコーヴィチ (1906-1975)  
20世紀を代表する交響曲の大家。時に政府から批判を受けながらも、多くの傑作を残す。

## ピアノ・レパートリー 1・2

～時代様式、スタイルを学ぶ～

「ピアノ・スケッチ」を修了程度のお子さまから大人の初心者の方までを対象に、著名作曲家の作品を中心として、四期(バロック、古典、ロマン、近現代)それぞれの時代様式の特徴がよく表われている楽曲を集めたテキストです。



### ピアノ・レパートリー 1

- 定価: 1,000円+税
- 品番: T31-114
- 対応級: ピアノ科ベーシックコース 5～2級
- 収録曲: 全15曲



### ピアノ・レパートリー 2

- 定価: 1,000円+税
- 品番: T31-115
- 対応級: ピアノ科ベーシックコース 3～2級
- 収録曲: 全12曲

対応SMFミュージックデータ [1巻: 6曲セット / 2巻: 4曲セット] 定価: 各800円+税  
『ローランド ネットワーク サービス』会員専用ページにてダウンロード購入いただけます。